第 45 回 PaFaCC 勉強会 ご感想の一部

・ 家族の気持ちの揺れ動きやどんな看護師との対話が家族に影響したのか考えさせられる事例でした。プライマリの方はもちろん、他のスタッフも上手く家族の様子を捉えられていて素敵なチームだなと思いました。
参考になりました。ありがとうございました。

・ （発表者）さん、ありがとうございました。A くんとご家族にとって何が一番なのかを、スタッフみんなで一生懸命考え、行動している様子がよく伝わってきました。一生懸命な方たちのお話って連鎖するのですね。私も、真摯に一生懸命でありたいと思いました。明日から頑張ります！

・ 事例を伺い、自分の看護を考えるきっかけになりました。あのとき何ができたのだろう、あれでよかったのだろうか、という思いが自分を動かす原点だなあ、と改めて感じました。ありがとうございました。

・ 医療者との関わりをシャットアウトされてしまうことがあるご家族との接し方は、特に看護チームで情報共有しながら検討していく必要があると学びました。看護師側もメンタルケアをしながら支えあって関わっていくことで、より良い方向に進むと学びました。

・ 意思を発することができないこどもとその親御さんへの関わりというテーマを見て、どのようにコミュニケーションを取るのか、意思決定支援をしていくのかといったことに興味を持ち参加させていただきました。懸命に関わる姿勢が親御さんに伝わること、こどもへの想いやつぶさに観察することなど、様々な努力の上に関わりが成り立っていることを感じました。

・ とても、貴重な事例の発表、ありがとうございました。関わりの中で、悩まれ、失敗もしながらも看護師主体の関わりだったかもしれないと模索されたこと、とても辛い気持ちやいたたまれない気持ちになることもあったのではないかと思いながら聞いていました。そして、病棟のチームで A さんのためになること、家族のためになることを考えつづけている姿にも感銘をうけました。家族の思いを知ること、Aさんのことを知ることから始め、その思いを受け止め A さんや家族を尊重し、家族のペースでAさんのケアの指導を進め、外泊まで行けたこと、まさしく患者家族中心のケアだと感じました。看護師さん達が、Aさんのためにできることを考え関わりを持っていった過程の中で、両親も病棟で A さんが大事にされ、尊重されていると気づくことができたことがとても大きいことだったかなと感じました。